

平成29年度第5回仙北地域協議会会議録

平成29年12月14日

仙北地域協議会

平成29年度第5回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■報告	3
(1) 平成29年度大仙市仙北地域の未来を語る会について	3
■協議	3
(1) 地域枠予算について	3
(2) 仙北地域の防災で今後進めるべき内容について	10
■その他	14
■閉会	14
■署名	14

平成29年度 第4回仙北地域協議会 会議録

■日 時：平成29年12月14日（木） 午後6時

■会 場：大仙市史跡の里せんぼく「さくまろ館」 大研修室

■出席委員：14名

石田 常 盤、 大 河 奈々子、 小須田 颯、 後 藤 孝 子
小 松 郁 子、 小 柳 伸 一、 佐 藤 あや子、 佐 藤 隆 造
中 村 健 秀、 タベルスキ マイケル、 原 隆 新、 藤 原 稔
森 元 通 友、 吉 田 利 雄

■欠席委員：3名

大 釜 滝 浩、 草 薙 美 香、 佐 藤 美佐子

■出席職員：11名

竹村由喜美（総合防災課長）	藤田 勇人（総合防災課主席主査）
大河 洋子（仙北支所長）	藤嶋 勝広（市民サービス課長）
進藤 一好（農林建設課長）	高橋 明子（仙北公民館長）
高橋 明美（市民サービス課参事）	佐藤コトミ（農林建設課参事）
須田 康平（仙北公民館主査）	高山 知洋（地域活性化推進室副主幹）
草薙 友也（地域活性化推進室主査）	

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 報 告
 - 6 協 議
 - 7 そ の 他
 - 8 閉 会
-

(午後 6時 開会)

○吉田会長（以下「会長」と表記）

どうも、お晩でございます。一日の作業が終わりましてお疲れの中での委員会でございますが、お集まりいただきましてありがとうございます。先般、仙北地域の未来を語る会を開催しましたけれども、その中で中学校2年生の生徒3名から発表していただきまして、未来が見えてこないような話もありましたけれども、皆さんからディスカッションしていただいた意見を聞いていただいて再度、生徒に伺ったら中々見捨てたものじゃないという気持ちを持っていただいたことは、非常に意義があった会だったと思っております。それを我々の年代がそれぞれの立場で改善しながらバトンタッチするのが大切なんじゃないかなと思います。大仙市が進めている自助・共助・公助というものに向かわなければ駄目なのかなと感じてございます。今日は、地域枠予算の申請が3件きておりますので、皆さんから屈託の無い意見を出していただきながら、この会を進めていきたいと思っておりますので、ご協力いただけることをお願い申し上げまして挨拶に代えます。今日は本当にご苦労さんでございます。

○大河支所長（以下「支所長」と表記）

皆さんお晩でございます。皆さんには年末の本当にお忙しい中、出席いただきましてありがとうございます。また、先月の未来を語る会では、お休みのところ多くの委員の皆様からご出席をいただきましてありがとうございます。4年目となる今年は、森元委員からご提案いただきましたテーマを基に初めて中学生から参加いただきました。仙北地域の未来を担う子ども達から出席いただいて大変良かったと思っております。そして、ふるさと仙北について、今感じていることを素直に率直に大変立派に発表していただきました。内容については、この後、報告させていただきたいと思っております。引き続き行なわれた交流会のほうも沢山の皆様からご参加いただきまして大変有意義な会になったと思っております。ご協力に感謝申し上げます。また、11月18日ですけれども首都圏仙北町ふるさと会が東京の市ヶ谷で開催されました。大仙市からは久米副市長をはじめ県議会議員、市議会議員、JA関係者、そして一般参加の市民の方々と支所職員と合わせて総勢31名で参加して参りました。今年地域枠予算で作らせていただきました半纏を役員の方々から着ていただきましたら仙北の良いところが全部ついててすごく良いと喜んでいただきました。そして、一緒に送った仙北産のあきたこまちのペットボトル米も一人に2本ずつお配りさせていただきました。こちらも大変喜んでいただきまして、本当に良かったと思っております。ありがとうございます。このペットボトル米に関しましても、2年程前に未来を語る会でテーマが農業だった際に、提案となったものでございます。今後もより活力ある仙北地域のために、どうか様々な視点で皆様からご提案いただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。本日の議題は地域枠予算とかねてより小柳委員からご提案いただいております地域の防災についてお話いただくことになっております。協議には本庁の総合防災課の職員も同席させていただきますのでどうかよろしく願いいたします。それでは、ご審

議についてよろしく願いさせていただきますまして挨拶とさせていただきます。

○会長

それでは、議事に入る前に、会議録署名委員を指名させていただきたいと思います。小須田顕委員と小柳伸一委員に署名委員を務めていただくようお願いいたします。よろしくお願いいたします。それでは、報告のほうをお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

平成29年度大仙市仙北地域の未来を語る会について配布資料に基づき説明。

○会長

ただいま未来を語る会の決算書の説明がございましたけれども、報償費のところ3,000円増えているってことで、説明があったとおり、発表していただいた生徒に図書券を贈呈したという報告でございますが、事後承諾になってしまいますが皆さんから承認していただければ、これで進めていきたいと思いますがいかがでしょうか。ご異議ございませんか。

（「はい」の声あり）

○会長

皆さんからご理解してもらったものとさせていただきます。ありがとうございました。それでは、地域枠予算について、これはプレゼンテーションがあるようでございますのでよろしくお願いいたします。

○申請者（払田柵真会 事務局 越後谷、森元）

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅲ型

№. 19 「払田地区天筆賑わい創出事業」

事業目的：払田地区天筆に合わせてミニスキー大会や火振りかまくらを実施し、地域の交流を促進させるほか、天筆行事の賑わいの創出を図る。

申請団体：払田柵真会

申請額：249,925円（補助金）

○会長

ありがとうございました。今、説明ございましたけれども委員の皆さんからここだけは聞いておきたいなということありませんか。

○石田常盤委員

チラシなんですけれども、どの辺まで配布する予定ですか。

○払田柵真会 越後谷

今、2,500部ということで、色んな人に聞いたら仙北地域2,200戸くらいということでしたので、そこに配ると設定をしております。それと残りについては、やはりイベントをやるということなので子ども達にも沢山参加してもらいたいということで、柵真会のメインのメンバーは30代、40代の会員が多くて子どもがそれぞれスポ少に参加していたりするので、スポ少のほうに声掛けをして、やるだけやって誰も来なかったとか無いようにということで計画しております。

○藤原稔委員

極端な話、最初のイメージが払田地区の子ども会のイベントかなと思ったんですけど。

○払田柵真会 越後谷

違います。地域全体から参加していただきたいと考えております。

○中村副会長（以下「副会長」と表記）

そうすれば、対象はどこからどこまでなんですか。

○払田柵真会 越後谷

参加の対象は、あまり小さいと怪我されても駄目なので、小学生以上で考えています。大人の人も楽しめるものだと考えています。

○中村副会長（以下「副会長」と表記）

このミニスキーっていうのは大人の人でも。

○払田柵真会 越後谷

大人の人でも大丈夫です。イメージでは、ホームセンターで売っているような長靴に結んで履くようなものを用意して、本当に小さいお子さんが履くようなミニスキーでやるってことで計画しています。

○会長

よろしいですか。

（「はい」の声あり）

○会長

ありがとうございました。

(申請者退席)

○会長

それでは、皆さんから改めてご意見を伺いますけれども、説明していただいた内容でいかがでしょうか。

○藤原稔委員

地域全体のイベントのようですから。あの隣で冬まつりもやってるじゃないですか。あれとかち合ってとか。

○事務局（地域活性化推進室）

同じ日付ではやるんですけれども、柵真会さんが申請したミニスキー大会は午前中に行なうということで、冬まつり自体は午後からのものなので時間帯は被らないかと思います。

○大河奈々子委員

角館の火振りかまくらも見ることがないので楽しみです。

○小柳伸一委員

内容も具体的で、大変良い企画をしているようですし、弘田の冬まつりに合わせて定着していくと思いますので良いと思います。

○会長

今、3者からご意見いただいたんですが、その他にご意見ございませんか。なければ提案どおり可決させてもらってよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。では、承認するってことで皆さんからご理解いただいたものとさせていただきます。ありがとうございました。それでは、次もプレゼンテーションしていただくことになっておりますのでよろしくお願いいたします。

○申請者（仙北除雪協議会 副会長 土井文智）

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅲ型

№. 21 「除雪機械体験試乗会」

事業目的：事業を通して除雪機械や除雪作業に興味を持ってもらい、除雪作業に理解を深めていただき、除雪作業に興味を持ってもらい将来のオペレーター育成等につなげる。

申請団体：仙北除雪協議会

申請額：206,841円（補助金）

○会長

ありがとうございました。今、趣旨説明をしていただいたんですが何か伺いたいことがあれば。

○小須田顕委員

これも、冬まつりと同じ日ということで、さっきのミニスキーも同じ日ということで。これはチラシは別個で作られるってことですか。同じチラシで両面にするとかじゃなくて別個にするということですか。

○除雪協議会 土井文智

そうです。一応、事業が違うということで。

○小須田顕委員

もしかしたら、一緒にしたら安くなるのかなって思って。冬まつりとかと一緒に出来ないものでしょうか。

○除雪協議会 土井文智

出来ないこともないですが、ちょっと宣伝不足になるのかなって思います。

○小須田顕委員

そうですか。ありがとうございます。

○会長

あの、ミニかまぐらのはたるとのほうは独立しているし、ミニスキーと今の除雪協議会のものを一緒にすればいいのかも知れないけれども、事業が違うから中々一括してっていうのは厳しいものがあるのかなって。これはこの単独事業できているってことなのでね。インパクトがあるチラシが出来上がることを期待して配布されるのを待ってるのもいいのかなと思いますけれども。

○原隆新委員

ミニチュアって何個くらい準備するつもりですか。

○除雪協議会 土井文智

今のところ、メーカーさんからも少しもらえるってこともありまして、会として準備するのが100個くらいの予定です。

○原隆新委員

この予算の中で100個くらい。あとメーカーさんからもということ。

○会長

この一番後ろについているのが参考価格ってことでしょうか。これを参考にして100個くらい用意するってことでしょうか。

○原隆新委員

事業そのものは、今までにやったことのないものですし、子ども達は大きい機械に興味を持っていると思いますので、いいかなと思います。タイミング的にも冬まつりと一緒だということで参加しやすいのかなと思いました。

○佐藤隆造委員

考えたこともなかったようなことですので、非常に子ども達に喜ばれるのではないかなと感じました。

○会長

先ほど、説明にあったようにインターンシップ関係のことも考えてるってことでしたので、雇用の場を提供するのにも非常に良いのかなと感じます。遊ぶだけでなく、こういったのを通して、機械に対して興味を持つ若い人達が出てくればということですので、趣旨は私個人的にはありますが、非常に良いのではないかなと思います。

○小松郁子委員

やはり、中高生の皆さんからも参加いただければ、もしかして将来の人材育成にも繋がるかもしれないので非常に良い企画だと思います。

○藤原稔委員

体験ってどのようなイメージをしていますか。

○除雪協議会 土井文智

最初にプロの人達に低温倉庫の駐車場を道路と見立てて除雪作業を行なってもらって、作業内容を説明して、その後に試乗してもらおうということで。足場を組んで安全に子ども達が乗り降りできるようにして、構内を1周するという形で考えております。

○藤原稔委員

除雪機は何台持っていくつもりですか。

○除雪協議会 土井文智

12台くらいを予定しています。

○藤原稔委員

結構、置くだけでも場所使いますよね。

○除雪協議会 土井文智

そのため、低温倉庫をお借りしています。

○藤原稔委員

9時からですよ。もし、当日ドカ雪が降って本当の除雪作業しなければいけなくて除雪機を持ってこれなくなることはありませんか。

○除雪協議会 土井文智

ありません。その時間帯は動かない時間帯、戻ってきている時間帯なのでその時間帯にイベントを設定しています。

○会長

皆さんからご意見いただきましたが、その他にございませんか。折角プレゼンしていただいていますので。

○タベルスキマイケル委員

お客さんなんですが、大体、何人位までの対応になりますか。

○除雪協議会 土井文智

何人でも対応できますが、時間もありますので、それまでの対応になると思います。100人くらいが限度かなと思っております。間に合わないようでしたら台数を増やして対応していこうかと思っていますけれど。

○会長

色々意見が出ましたが、プレゼンのほうはこれで終わりたいと思いますがよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。ご苦労様でした。

(申請者退席)

○会長

ただいまプレゼンしていただきました事業について皆さんから再度、意見を伺いたいと思いがいかでしょうか。先ほど、皆さん伺って確認したと思いますが、提案どおり承認してよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

それでは、皆さんからご理解させていただいたものとさせていただきます。ありがとうございました。それでは、次の説明をお願いします。

○高橋公民館長

配布資料に基づき説明。

・実施類型Ⅰ型

№. 20「おらだのラヂオ体操CD制作事業」

事業目的：昨年度、市民の健康増進を図るため、おらだのラヂオ体操を制作し、配布したところ、反響が大変良くCDの配布要望が多くなっているが、当初制作した在庫は無くなっており、追加制作し希望者へ配布して市民の健康増進及び地域の活性化を図るもの。

申請団体：仙北公民館

申請額：64,800円(委託料)

○会長

ありがとうございました。CDの追加制作ということでございますが、皆さんからこの件についてご審議いただきたいと思っております。

○佐藤あや子委員

婦人会でもこのCDをお借りしてやったんですけれども楽しかったので、是非やっていただければと思います。

○森元通友委員

私も子どもがラジオ体操をやっていて久しぶりに一緒にラジオ体操をやっているとなんとなくやらされてる感じがあるなと感じました。こういった企画で楽しんでやれるような仕組みづくりっていうのはいいなと思います。それから、色んな人に知っていただけるようにしていただければ良い企画になると思います。

○石田常盤委員

例えば、100円なんかで公民館で販売するとかも検討してみてもどうでしょうか。

○会長

今、有料って話が出ましたけれども、恐らく有料にしてしまうと地域枠予算が使えなくなると思いますので、地域の健康づくりっていうことでご理解いただいてよろしいですか。

○後藤孝子委員

笑いながら楽しく体操ができるようですので、よろしいんじゃないでしょうか。

○会長

皆さん、趣旨には反対の意見がないようですから承認させてもらってよろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

はい。ありがとうございます。それでは、地域枠予算の審議については閉じたいと思います。次に仙北地域の防災で今後進めるべき内容について先般、小柳委員らの要望でございましたので小柳委員から問題を提起していただきながら進めていきたいと思ひます。

○小柳伸一委員

以前にもこの場で話をしたことの繰り返しになりますが、大仙市仙北地域は払田の一部を除いて本当に平坦な地域で今まであまり大きな災害に見舞われたことがなかったんですが、最近全国各地で大雨とか台風だとか直下型の地震等で災害が頻繁になってきておりますので、この地域もいつも安全な地域だとは限らないってことを地域の皆さんからもう少し意識してもらって防災意識を高めてもらいたいなということで提示したところなんです。この宿題を出されて問題提起したときは、7月、8月の大雨もなかったし、神岡地域の地震もなかったんで、まさかと思ったことが大仙市の中で起こりました。私、消防もやってお

りますし、災害予防組合もやっていますけれども、そういう関係で防災訓練とかそういうところに立ち会ったり、防災の講演を聴く機会がよくあるのですが、やはり一番大事なのは、一般の市民の皆さんが防災についてもっと身近に感じて防災の知識を得ることが大事なのではないかと思ってます。そのためにはどのような活動をしていったらいいのかなということを皆さんから話し合っただけであればと思って提言いたしました。

○会長

はい。ありがとうございました。これは今、小柳さんがお話しとおりに危惧しているということでご理解いたします。先般の大雨に関しましても、ここはあまり大きい被害を被らなかったんですが、西部のほうでは非常に大きい被害が発生しているというのは皆さんご承知のとおりですし、直下型の地震で施設に被害が出たということも伺っております。ここの仙北地域では、あまり大きい災害というのは散見されませんが、大仙市のほうの今後の対策を伺いながら我々も地域の方々にお話できればと思っております。今日は、総合防災課から職員の方に出席していただいておりますので、お話を伺いたと思います。よろしく申し上げます。

○総合防災課藤田主席主査

平成29年7月の大雨災害及び大仙市の防災体制について配布資料に基づき説明。

○会長

はい。ただいま総合防災課のほうから説明がございましたが、この件について何か質問ございますか。

○小柳伸一委員

ハザードマップの見直しをしていただいたので大変良かったと思いますが、付け加えて言えば避難勧告とか避難指示とかのレベルの強さとか紛らわしいので一般の人が分かるように簡単に説明したような資料もその中にあれば良かったなと思いますけれども、出来てしまったのでこれからでも作っていただければなと思いました。

○会長

はい。というような要望ですので、聞き受けていただいて後々、機会があれば提示していただければありがたいと思います。

○藤原稔委員

この前、2度の大雨がきたことで、雄物川の神宮寺の堤防が無いところに堤防を作ると新聞についていたんですけど、そっちの堤防が出来れば上流はもっと水位が上がるということですね。この前も仙北地域でも結構水ついたところがあったのですが、そのことについて何か対策とかこうゆうふうなことしようというようなことは無いんですか。

○竹村総合防災課長

国のほうで堤防を築堤する予算がつきましてこれから工事します。国交省でどのような計画で考えているのか国の事業なので私達もちょっと分からないんですけども、それに合わせて当然、上流の水嵩も増してくる。県管理河川につきましては、県で危険箇所等は把握してて、その部分の補強というかそういったことも考えているようです。それによって今度は内水の管理が必要になってきますので、それを増強するという考えを市では持っています。今、どれだけ雨が降るかっていう、想定できないような雨が降っておりますので、その辺をこれから少しずつ増強していくと考えているところです。

○総合防災課藤田主席主査

仙北地域でこの前、被害が大きかったところが仙北自動車学校の周りなんですけれども、その要因のひとつが丸子川側にある水門のところが逆流したことが要因に挙げられます。逆流して、水がどんどん住宅のほうに流れ込んできたと。水門のほうに若干隙間が空いていましたので、その水門をもう少ししっかりしたものにならないのかということの県の管理になっておりますので、県のほうに早く直すように要望しております。

○会長

今、お話されたように国と県と市でそれぞれ把握していて対策していくということでしょうから。期待しましょう。その他ございませんか。

○佐藤隆造委員

私も川の近くに住んでいるんですが、川口川については県の管理になっていると思うんですが、私も小さいころ、築堤されてないときに川が氾濫した経験があります。一昨年だと思いますが、中仙の斉内川で誰も氾濫すると思っていないところで氾濫した例があって、私も、関心を持って川を見ている訳だけれども、川があって堤防まで2段になっているんですけれども、その中に沢山、雑木がある。斉内川の氾濫があって予算がついて堤防の内側だけは切っていったけれども、中の川に至るまでのスペースの木はそのままになっている。今年の大雨のときも雄物川は大変だったんですけども、支川については2回きた後のほうが水が多かった。県のほうでやることもあるんだろうけれど、もし市のほうでもそういう機会があったら川掃除っていうかそういうものを要望しておいてもらえればと思います。

○進藤農林建設課長

今のお話ですけれども、毎年、市と振興局で集まりまして事業調整会議というのが年度初めにあります。その中で、毎年やはりどこの地域もその問題を抱えていて要望がすごいあります。やはり予算的な問題もありまして、優先順位をつけて各地域の木の伐採等をやっています。年次計画で進んでいまして、毎年要望はしております。予算がつき次第まわってくると思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長

地域の要望として機会がありましたら交渉していただきたいと思います。それでは、引き続き仙北地域の防災体制の現状について説明をお願いします。

○藤嶋市民サービス課長

仙北地域の防災体制の現状について配布資料に基づき説明。

○会長

ただいま、課長さんのほうから仙北地域の防災の方向性をお話いただいた訳でございます。これについては、改めて防災について協議する場を設けても結構だと思いますので、ご難儀かけますが職員の方々から検討してみただけでないでしょうか。協議する場を我々の委員会だけじゃなくして、色々な災害予防組合等の方々を交えての協議にしたほうがいいと思います。我々協議会だけの問題ではないと思いますので。広げて協議するってことがいいと思いますけれども。そういう機会を作っていただければもっと活発な意見が出てくると思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

○竹村総合防災課長

市民サービス課長のほうからお話がありましたけれど自主防災組織等活動育成事業補助金に関連してですけれども、皆さんにお配りしたハザードマップには、もうひとつ全市版というのがございます。それは全市の本当に細かいものになります。仙北地域っていうのは面積が小さいので市の地域版の中では2番目に見やすいといいますか大きくなっているハザードマップです。市としましては共助という観点からもこの後、自主防災組織単位でのハザードマップを作成して欲しいということで考えております。その為の補助金も用意しております。印刷費として。各家庭といいますか自主防災組織単位でのハザードマップを作ってください、それを各家庭に貼っていただければいいのかなというふうにも思っておりますのでその辺のご活用もお願いしたいと思います。

○会長

今、防災課長からもお話あったように色々な動きがあるようでございます。この地域で検討するものがあれば別の機会に設けてやってみたらいかがでしょうか。

○支所長

よろしくお願ひしたいと思います。まずは自分達からということで、それぞれの自主防災組織でもお話し合いを持っていただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

○小柳伸一委員

余談ですが、平成33年だと思いますけれども、大曲仙北でやっている総合防災訓練というのがありまして、それが仙北地域にあたっているのが33年だと思います。そのときは是非、市民参加型の防災訓練になればいいなと思ってます。その頃になったときは、またこういったところからも意見をもらえればいいなと思ってます。

○会長

その前にでもある程度色んなところから意見を出し合って、仙北地域のあり方を検討してもらえればいいと思いますし、先ほど防災課長さんがお話されたように仙北の詳細なハザードマップの予算的な部分もあるということでしたので、それも鑑みながら総合的にやっていただければもっと充実したものになると思います。今日予定した内容は一通り終わらせていただきましたけれども、他に無ければこの会を閉じたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○会長

大変貴重な時間ありがとうございました。これで会を閉じたいと思います。今日は本当にご苦労さんでございました。

(午後 20時 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

小須田 顕

小 柳 伸 一
